



いまいは今  
vol. 270

発行 今井町並み保存会  
発行日 令和4年12月1日  
電話 0744-22-1128  
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>  
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は  
今井景観支援センターまで

だんじり、曳こうぜ!

令和4年11月6日(日)今井町の地車2台、十市町の地車2台が今井町の町中を勇壮に曳行されました。

このイベントは檀原市、今井町自治会、十市町自治会が中心となった『檀原市指定民俗文化財(令和3年2月指定)「十市の地車、今井の地車」保存継実行委員会』によって実施されたもので、今年、修理された地車を次代を担う市内の子どもたちにも親しんでもらおうと企画されました。

快晴の日曜日、今井町の子ども太鼓、十市の伊勢音頭に見送られ4台の地車が出発。今年、修復が終わった稱念寺の前を過ぎ、小学校前を通りおよそ1時間、参加した子どもたちは地車に乗り、引き綱を引き、秋祭りの雰囲気を楽しんでいました。

今井町は子どもたちが地車に乗りますが、それは昔からのようです。『今井町史』では「十月二十四日の宵宮には、各町7台のダンジリに稚児を乗せて境内に引きこみ、

今井西環濠広場に4台勢揃い



いわゆるダンジリの衣装そろえをする」。また「これを見るために近在から大勢の見物衆が集り、昔はオトコシ(男子)・デッチ(丁稚)などに提灯をもたせ、一張羅の服装で詣ったものである。二十五日の祭当日は、各町その領内でダンジリをひきまわす。少しでも他町に入り込まうものならばしばしば祭りにつきものの喧嘩が起ったものである」とあります。

結果として「この祭礼行事も年とともに華美に流れる傾向があったので、領主からは度々禁令が出されて、その緊縮が命ぜられたし、遂には高取藩から壇尻の出向が禁止されたほどである」(『今井町史』「今西家文書」となったのです。逆に今井の活気(財力)のすごさを知ることができると考えます。

民衆が支えているこの熱さを後世に継いでいきたいと思えます。

消防団が今井小学校へ出動!!

ー小学3年生向けに社会科学習ー

11月11日10時30分から今井小学校体育館において、檀原市消防団第9分団(大村眞司分団長他4人)と女性団員だけで構成された第10分団(川端眞奈美分団長他4人)が、小学3年生を対象に消防団の歴史や役割・活動内容について話をし、つづいて女性消防団員達の手作りの紙芝居で火災の恐ろしさを説明し、生徒達からの質問に答えていました。

11時30分からは、校庭に出て消火器の使用方法について学び、水消火器で全生徒が実施訓練を行い、その後は消防車の詳しい見学と消防団員による放水訓練も見学して、火災など災害に対して自分達はどう対処すべきかを学びました。

体育館で紙芝居



校庭で放水訓練

今井町の商い⑦

若林 稔

今回は本町筋を書いていきます。

中蘇武通りから前回の吉本ミシン店⑩の三つ角を北に進み、一つ目の角が森本のお茶屋さん①、西に折れて南角は吉田金兵衛さんと言っていた饅頭屋さん②、北向いは竹本板金樋屋さん③、並んで澤井薬局④、喜多の骨董・美術商店さん⑤、松尾の青果店⑥(後に肉屋さん)、古林建具店⑦と並ぶ。

南側、金兵衛さんの続きは郵便局⑧、福田の小間物雑貨店⑨、学校通りで説明した米善⑩と続く。

通りの西側最初は八百新青果店⑪、鮮魚や乾物も扱っておられたな！

向かいは森本のアイスクャンディ屋さん⑫。並んで荒木さんは小デマと言われた建築請負屋さん⑬、その隣は細田染め物材料屋さん⑭、南向かいは細川製薬会社⑮で、北側東角は山上の灰屋さん⑯と続く。

道を挟んで西角はミミズ製薬中村さん⑰で隣へ小林の豆腐屋さん⑱、向かいは東から黒沢の質屋さん⑲、埴輪饅頭の杉本さん⑳と続き、西四つ角の南は音村小手間屋さん㉑、向かいは和田の産婆さん㉒で、私もそうだが町の多くの人がこの和田さんのお世話になって生まれてきました。

称念寺の太鼓楼が見える南西角は阪本炭燃料店㉓で薪が壁際にずらりと積まれ

ていたのを覚えていきます。

西へ行くと赤い郵便ポストがあつて阪部新聞舗さん㉔、阪部さんの新聞販売は私の記憶が微かな昭和20年代に八木西口駅前に移転しています。

阪部さんの向かいには売薬の市川さん㉕、若元の駄菓子屋さん㉖が並び、子供たちで賑わっていました。

側溝のある四つ角の北角は古林酒店㉗でお爺さんの晩酌を1升瓶で量り売りしてくれ、カウスターでは常連さんが仕事帰りに1杯やっています。

さらに西へ次の北角は安田の筆筒製造所㉘、鉋屑を貰ってよく遊びました。

並びの空き地には山口さん㉙という大きな古民家があつたのですが、残って居たらなあと残念です。

その西側は米谷左官屋さん㉚で、店ではタバコも商っておられた。隣は城野の竹籠屋さん㉛で駄菓子も売っておられました。

向かいは大谷の糍屋さん㉜で味噌を造る為の麴を買いに行きました。

本町筋



その西隣で水牛の角で釘を造っておられた作業所㉝もあつた。西口門前、今西家住宅の向かいは上田のタバコ屋さん㉞。

本町通は江戸時代には六斎市が発つた通りでしたが、それにしてお店が少ない落ち着いた通りのような記憶があるが、こうして書いてみるとやっぱりお店が多かったのですね！

この号が発行されると12月、まもなく迎えるお正月料理やお年玉を使うお店がいっぱい、きっと町外の人たちも今井町にたくさん買い物にいられたことでしょうね。

そんな町をもう1度再現したいです！

年末年始休館の予定

当保存会で檀原市から委託を受けて管理している建物、今井町まちや館・重文旧米谷家・今井町景観支援センターは12月25日から1月5日までの12日間を休館とします。

編集後記

まだ終わりの見えないコロナ禍が続くなかで、令和4年の師走を迎えました。当保存会の事業の運営についても悩ましい状況下にあります。中止ありきではなく、実施可能な条件を整えて今井町の活性化、町民相互の交流促進に取り組みたいと思います。